LV-352
MT ペダルセット K コンパクトカー & 軽自動車 用
取扱説明書

LV-351 をご購入のお客様は、裏面をご覧ください

この度は、LEVOCスポーツペダルシリーズをお買い求め頂きまして誠にありがとうございました。

この取扱説明書を最後までお読み頂き内容をご理解された上で正しくお使いください。また、この取扱説明書は常に車内に保管してください。

⚠ 警 告

■一度取付けを行ったスチールバンドは折れる恐れがあるため、再使用しないでください。
■濡れたままの靴での運転はしないでください。

⚠ 注 意

■ペダル取り扱いの際には手を保護するため、保護手袋をはめて作業してください。
■ペダルの取付けは人のいない広い場所で行ってください。
■ペダルの取付けおよび、取付け状態を確認するときはエンジンを止め、サイドブレーキを引いた状態で行ってください。
■ペダルの取付け後、人のいない広い場所で徐行による運転操作を行い、運転操作に支障がないことを確認してください。
■ペダルの干渉を防ぐため、フロアーマットは固定してください。
■運転前にはペダルのずれ、ゆるみ、すべりがないことを確認した後運転してください。
■運転の際には運転に適した靴を使用し運転してください。
■⑥六角レンチ及びプライヤーまたはドライバーを常に車載し、ペダルの取付けがゆるんだ場合には増し締めしてください。

アクセルペダルを取付ける方法には、タッピングビスで直接車両側ペダルに取付ける方法と、スチールバンドを車両側ペダルに巻付ける方法の二通りがあります。当社では確実に装着するためにできるだけタッピングビスでお取付けすることをお勧めします。

製品の構成

まず最初に、製品が揃っているかどうかを、このイラストを見ながらご確認ください。

① アクセルペダル ×1

② ブレーキペダル ×1

③ クラッチペダル ×1

④ 両面スポンジテープ ×3

アクセルペダルとブレーキペダルをスチールバンドで取り付ける場合のみ使用する物

⑤ スチールバンド ×12

⑦ ビス ×12

⑥ 六角レンチ ×1

⑧ ナット ×12

アクセルペダルをタッピングビスで取り付ける場合のみ使用する物

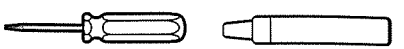
⑨ タッピングビス ×4

⑩ 取扱説明書（本書） ×1

ご用意していただく工具 取付ける方法によって違います

■タッピングビスで取付ける場合の工具

プラスドライバー　白マーカーなど



■スチールバンドで取付ける場合の工具

プライヤー　布等

アクセルペダルをタッピングビスでお取付けする方法

※確実な装着をするために、この方法でのお取付けをお勧めします。

1 車両側のアクセルペダルの表面の汚れを中性洗剤などを使用して落とし、両面スポンジテープが貼り付きやすい状態にします。

2 ①アクセルペダルを車両側のアクセルペダルにあて、どの位置に ①アクセルペダルを取付けるかを決めます。
(図1参照)

⚠ 注 意

■エンジンを切った状態で ① アクセルペダルを車両側ペダルにあてたまま、アクセルを最後まで踏み込んだ状態にし、マットなどのどこにも干渉しないこと、ペダルとの間隔が充分にあることを確認してください。

3 ①アクセルペダルを2で決めた位置に合わせたまま、ビス穴の位置に白いマーカーなどで印を付けます。
(図2参照)

4 図3に示す位置に ④ 両面スポンジテープを貼ります。
(図3参照)

5 3で付けた印と、①アクセルペダルのビス穴が重なるようにペダル同士の位置を合わせて④ 両面スポンジテープで貼り付け、プラスドライバーを使用して⑨タッピングビスを締め込み、ペダルを固定します。(図4参照)

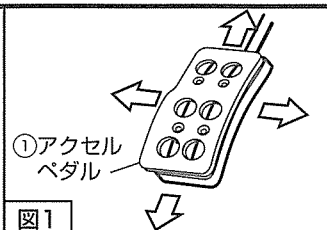


図1

白マーカーなどで印を付ける

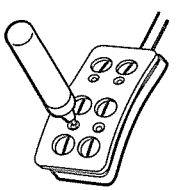


図2

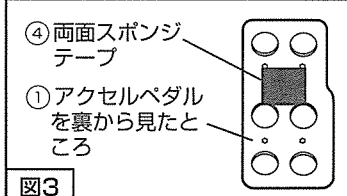


図3

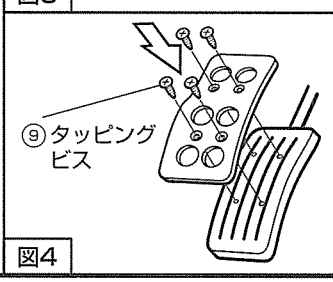


図4

アクセルペダルをスチールバンドでお取付けする方法 および ブレーキペダル、クラッチペダルのお取付け方法

※アクセルペダルをタッピングビスで取付けができない場合は、こちらの方法でお取付けください。

※ここからの説明はアクセルペダル、ブレーキペダル、クラッチペダル全てに対しての説明となります。イラストはアクセルペダルを例にしてありますが、ブレーキペダル、クラッチペダルも同様の取付け方となります。

※説明文章中の「レボックペダル」は ①アクセルペダル、 ②ブレーキペダル、③クラッチペダルを意味します。

作業の前に

1 車両側のペダルの表面の汚れを中性洗剤などを使用して落とし、両面スポンジテープが貼り付きやすい状態にします。

2 レボックペダルを車両側のペダルにあて、どの位置にレボックペダルを取付けるかを決め、その位置をおぼえておいてください。(図5参照)

⚠ 注 意

■エンジンを切った状態でレボックペダルを車両側ペダルにあてたまま、ペダルを最後まで踏み込んだ状態にし、マットなどのどこにも干渉しないこと、隣のペダルとの間隔が充分にあることを確認してください。

組み立て方法

3 レボックペダルに⑤スチールバンドを、付属の⑥六角レンチを使用して ⑦ ビス、⑧ ナットで仮止めします。(図6参照)

⚠ 注 意

■仮止めの程度は、⑤スチールバンドが力を入れて図9の方向に動く程度に締めてください。

4 3の要領で4箇所全てに ⑤スチールバンドを取付けてください。

5 図7に示す位置に ④ 両面スポンジテープを貼ります。(図7参照)

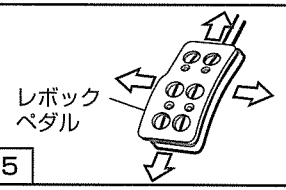


図5

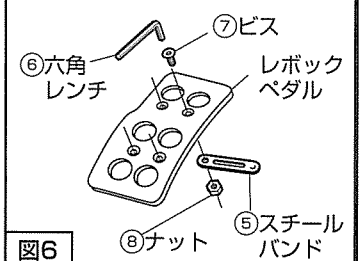
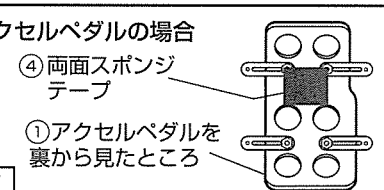


図6

アクセルペダルの場合



ブレーキ、クラッチペダルの場合

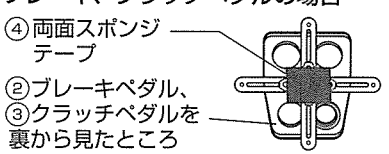


図7

取付け方法

6 ④両面スポンジテープでレボックペダルを車両側ペダルの 2 で決めた位置に貼り付けます。

7 車両側ペダルの裏側で、 図8に示すような ⑤スチールバンドを回し込むのに適した場所をさがし、⑤スチールバンドを動かして角度を調整します。(図9参照)

8 ⑤ スチールバンドの角度が変わらないように⑦ビスを増し締めします。

9 ⑤ スチールバンドを手で曲げられる程度まで曲げ、車両側ペダルに仮止めします。(図10参照)

⚠ 注 意

■エンジンを切った状態でレボックペダルを車両側ペダルに仮止めしたまま、ペダルを最後まで踏み込んだ状態にし、マットなどのどこにも干渉しないこと、隣のペダルとの間隔が充分にあることを再度確認してください。

10 布等を使いレボックペダルなどに傷が付かないよう保護した上から、プライヤーで⑤スチールバンドを締め付けます。(図11参照)

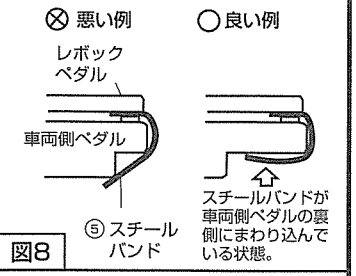


図8

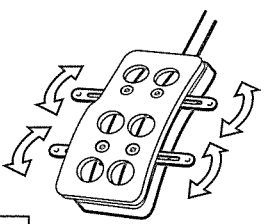


図9

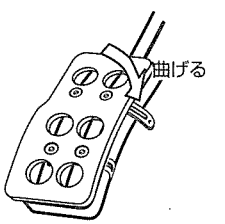


図10

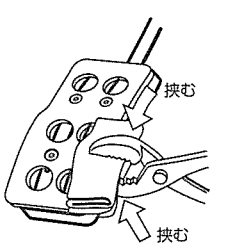


図11

株式会社 ナポレックス　〒124-0001 東京都葛飾区小菅 2-6-22 TEL03-3602-7311
http://www.napolex.co.jp E-mail:info@napolex.co.jp